

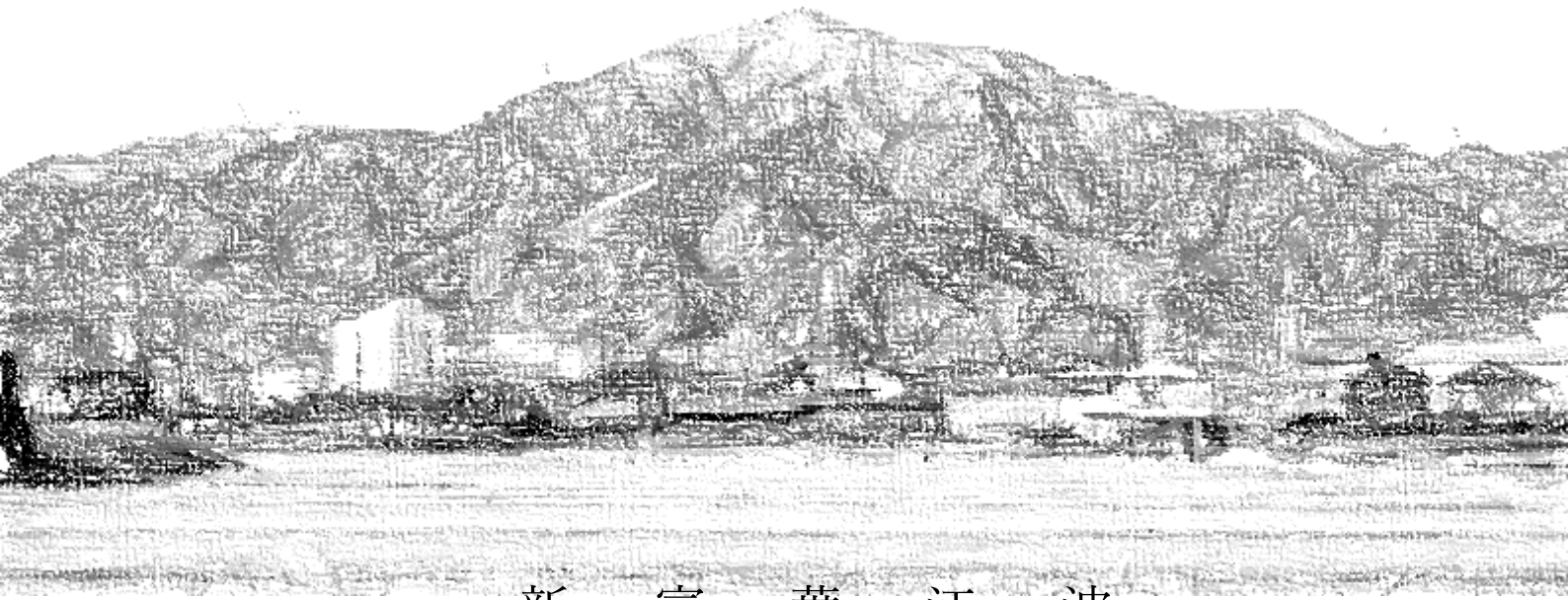
# みどり通信

第57号  
2026年7月1日

2026

7

令和8 文月



新鮮な魚

富士山

葉山の海

江ノ島

波の音

向  
日  
葵

葵

## 「星に願いを」

あきのふみこ

砂子	提灯	折り紙	かんぜんより	竹に吊す	何と書こう	黄色 紫 金色	ピンク 空色	五枚	七夕の短冊
頬ばる	小分けして	ニコニコ笑顔	包丁で切る	大きな西瓜	皆で歌う	キラキラ星	ピアニカを弾く	ハモニカを吹く	七夕の歌
					星を見る	短冊に書く	食べたいもの	できそうな事	今やりたい事

# 「白菜」

久保 眞江



## 「サポート」

秋野文子

サッカーの試合が始まる。

サッカーは応援しても自分がやっても面白い。

サポートという言葉は、世界共通で介護の業界でも使われている。インドネシアの職員さんにも解り易い。

主体的サポート、利用者が当事者で介護職員が専門家としてサポートしてくれる。

ベッドから起きて車椅子への移乗にも具体的に現れる。

全ての間人間関係において同じと思う。

平等、指導の言葉の意味と、こんからがるが。

場面場面で明るく信頼感をもってやっていくしかないと思う。

## 「死んだらどうなるのだろう」 5

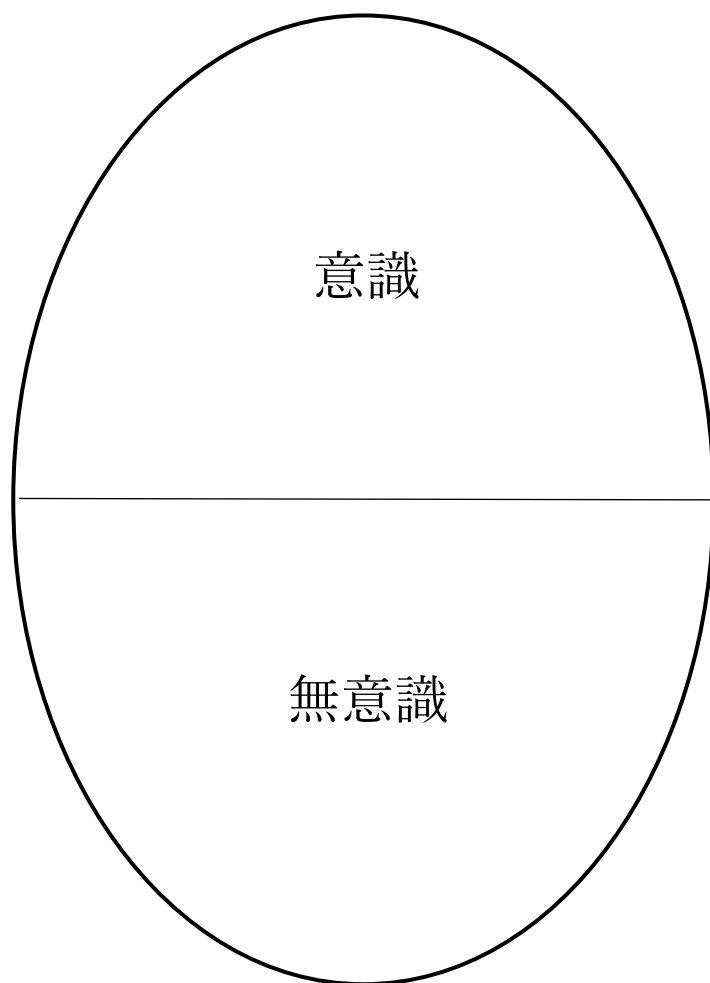
ふぁ爺

前回は、自分の中に他人がいると考えてもいいのではないかと述べた。

それは身体について考えた事だったが、精神についても同じことが言えるらしい。

「『私』は知らない。」という時の「私」とは私の「意識」を指すが、精神には「無意識」という領域がある、というのが定説になっている。そして意識は無意識の内容を知ることができない。

だから無意識は私の中の他人だと言ってもいいのかもしれないが、精神とは1個のかたまりで、その中に意識や無意識があるという構図が一般的である。





ほてい葵

編集後記

夏休み、お盆休みがある。  
世の中の流れで、創意工夫をしながら生活して  
行かなければならない。

健康第一。

できる限り、和やかに過ごしたい。 秋野

midori2shin@gmail.com

